

同志社大学 商学部 留学ガイド

Doshisha University
Faculty of Commerce
Study Abroad Guide

世界が
君を
待っている



STUDY ABROAD ROADMAP

留学準備

1 留学を意識してみよう

■留学の必要性の明確化

- 留学でどのような体験をしたいですか？
- 4年間の中で、どの時点で留学しますか？

2 留学について具体的に考えてみよう

■情報収集 ■選択肢の絞り込み

- 留学したい国・地域はありますか？
- 留学のイメージは描けましたか？
- TOEIC®/TOEFL®やGPAについての情報はありますか？

目安

出発1年半
くらい前

3 選考条件を満たすための準備をしよう

■留学目的の具体化 ■語学力 ■学業成績 ■経済力・資金計画

- 受け入れ大学に求められる選考基準を理解していますか？
- 保護者の理解は得られていますか？
- TOEIC®/TOEFL®の勉強計画は立てていますか？
- GPAの基準を満たせていますか？
- 留学に必要な資金を集める目処はたっていますか？

目安

出発1年
～1年半
くらい前

4 学内選考にチャレンジしよう

■語学能力証明書、志望理由書、 成績証明書、推薦状

- 出願に必要な書類は揃っていますか？
- 受け入れ先の選考基準を満たしていますか？
- 志望理由がしっかり書き込めていますか？

目安

出発6～
11ヵ月前

5 留学先大学での受入審査に備えよう

■各大学から求められる必要書類の提出

目安

出発3～
6ヵ月前

入学許可

正式に留学が決定

6 出発の準備をしよう

- ビザ取得 ■現地宿泊先手配
- 航空券手配 ■留学先ごとに必要な手続き
- 商学部での演習指導等に関する手続き
- 出発前のオリエンテーション

目安

出発直前～
5ヵ月前

★各自で準備を進めていきます。重要な手続きですので慎重に進めましょう。

出発

有意義な留学生活を送ろう

- 留学先大学で単位取得にチャレンジしましょう
- 健康・安全に留意し、常に同志社大学と連絡がとれるようにしておきましょう

帰国

帰国後

商学部や国際課に対して、帰国報告や単位認定等の必要手続きを速やかに行ってください

- 単位認定のための面接
- 留学報告書、アンケートを提出

帰国後、留学の経験を活かすために…

- 留学生活の振り返り
- 商学部派遣留学説明会での報告
- 留学生との交流 ▶ 留学生課/日本語・日本文化教育センター
商学部学部長協定受入れ留学生との交流

留学・国際交流に関する情報は、商学部掲示板や商学部ホームページでチェックしよう！

同志社大学 商学部

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL.075-251-3660 FAX.075-251-3068

■ 商学部掲示板：至誠館1階（北側廊下）

■ 商学部ホームページ

[http://com.doshisha.ac.jp/
undergraduate_students/
study_abroad/index.html](http://com.doshisha.ac.jp/undergraduate_students/study_abroad/index.html)



※全学プログラムに関する情報については、国際課で確認してください。（扶桑館1階）

商学部だからこそできるグローバル化への具体策

商学部のグローバル科目および資格試験講座

5類実践科目 海外ビジネスII

留学型

この授業は、グローバルマインドを持つきっかけとして、1週間程度、実際に海外へ行き、現地での文化や日本企業の海外における企業活動に触れる短期集中プログラムです。講義は国際ビジネスに関する事前・事後学習と現地視察で構成されます。 ※2019年度 現地視察先:ロサンゼルス

10類外国語科目 実践英語A・B・C

国内型

商学部では各種英語検定試験および資格の受験を奨励しています。申請の条件となるガイダンスの受講後、以下の点数に到達もしくは合格すると単位が申請できます。

実践英語A(2単位)	TOEIC®L&R 600点以上、TOEFL iBT® 63点以上(2012年度以前は61点)、IELTS™ 5.5以上
実践英語B(2単位)	TOEIC®L&R 730点以上、TOEFL iBT® 79点以上、IELTS™ 6.0以上、英検準1級、国連英検A級
実践英語C(2単位)	TOEIC®L&R 800点以上、TOEFL iBT® 90点以上、IELTS™ 6.5以上、英検1級、国連英検特A級

5類実践科目 Business Presentations in English

国内型

パワーポイントなどを用いて英語で商学に関するプレゼンテーションを行うことを目標とする講義です。またプレゼンテーションを行う基礎力をつけるために、TOEIC®L&R 730点相当のレベルへ到達することも目標にします。日本人講師(TOEIC®基礎力養成)と外国人講師(プレゼンテーション指導)がセットで担当します。

正規科目以外のプログラムとして TOEIC®L&R 対策講座(資格試験講座)

入門講座(春学期)/TOEIC®L&R 600点講座(春学期)/TOEIC®L&R 730点講座(秋学期)

国内型

本講座はTOEIC®に関するノウハウを持つ講師が、3つの段階ごとにスコアアップのポイントを教える講座です。外国人講師のクラスではただ単にTOEIC®のリスニング対策をするだけでなく、英語を話す機会もあります。みんなでTOEIC®高得点を目指しましょう!!

商学部グローバルプログラム 海外ビジネスII

グローバルに活躍する人材の育成を目的として、商学部では2014年から独自の海外研修プログラムを導入しています。このプログラムでは、日本企業の海外進出状況、日本とアメリカとの商業習慣および文化の違いについての基礎的調査(グループワーク)を行ったうえで、アメリカ・ロサンゼルスに赴き、アメリカの文化に直接触れるとともに、現地で事業を行っている日系企業へ訪問したり、アメリカで働いている方に直接話を聞いたりすることによって、海外ビジネスおよび日本企業の海外進出の現状について学びます。海外を身近に感じることによって、より長期の派遣留学にチャレンジするきっかけも作ります。

【プログラム概要(2019年度実績)】

開講学期: 春学期(集中制)4単位
配当年次: 2年次生以上
研修期間: 5泊7日(8月末~9月初) ※期間外に事前授業・事後授業があります
現地学習: 企業訪問(YAMATO TRANSPORT U.S.A.、SONY PICTURES ENTERTAINMENTなど)
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)大学見学・講義聴講、
ビジネスフォーラム、キャリアフォーラム、テーマパーク



※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

Study abroad Column

商学部留学説明会に参加しよう

商学部では、6月頃に留学説明会を実施し、留学経験者の体験談を聞き、気軽に相談できる機会を設けています。



グローバルに活躍する ビジネスパーソンを目指すために



特にビジネスの世界においては、日本企業が日本以外の国で製品を作ったり、製品を他の国で販売したりすることが普通になってきています。たとえ日本で就職したとしても、日本だけではなく、海外とも積極的にかかわって仕事をしていくことが増えていきます。つまり、これからビジネスの舞台で活躍するためには、国内だけではなく、海外でも能力を十分発揮できることがとても重要になってきます。

商学部では、グローバルに活躍できる人材を育成するために

TOEIC®/TOEFL iBT®:730点/79点
を取得する学生の増加

短期を含む留学を
体験する学生の増加

上記を目指すプログラムを設置しています。

留学は綿密なスケジュールから



留学の実現には思ったよりも時間がかかります。また、卒業後の進路を見極めながらベストなタイミングを見計らうとすると、やはり2年次～3年次までの間に留学を組み込むことがオススメです。3年次の後半以降はインターンシップ等に行きたくなくなるかもしれませんし、留学の決断と準備の開始は早いに越したことはありません。

そのためには綿密なスケジュールが何よりも大切です！留学実現に不可欠な高いGPAの維持、英語力の向上、そしてご家族の支援の確保や自身の精神面・体力面の成長に、十分な時間をかけましょう。入学直後から同志社での学びと英語力の向上に努め、1年次の夏期休暇にTOEFL®などに挑戦して規定の点が取れば、2年次秋に出発する派遣留学や協定留学に応募できます。3年次に出発するプログラムに応募するには、2年次のうちに各種規定(GPA、英語など)をクリアすることが必要です。

高い英語力は、就職活動や卒業後に国内外の大学院に進学する際にも活用できます。3年次以降は将来を思い描きながら、自分の進路に合ったテストを受験していきましょう。就職活動では一般的に TOEIC®の方が通用度が高いと言われています。3年次生で未受験のみなさんはぜひ一度受験してみてください。また、卒業後に海外で MBA を取りたくなったときには、大学時代の成績証明書を提出しなければなりません！在学中でも卒業後でも、海外での学びを目指すなら、GPAと英語力の向上・維持には卒業まで力を尽くしてくださいね。Good luck!

※TOEICおよびTOEFLはエデュケーションルテストサービス(ETS)の登録商標です。

商学部学部間協定留学制度

商学部には、商学部生を対象とした協定校留学派遣制度※があります。



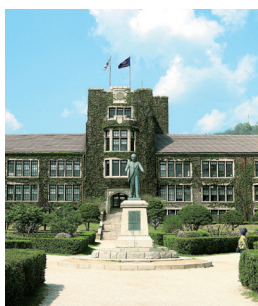
マレーシア科学大学【経営学部】〈マレーシア〉 Universiti Sains Malaysia School of Management

11800 Minden, Penang, Malaysia
URL: [https:// www.usm.my/](https://www.usm.my/)

マレーシア科学大学 (USM) は、マレーシア2番目の大学として1969年に創立されたマレーシアトップクラスの国立大学で、2万人強の学部生・大学院生を抱えている。言語・翻訳学部 (School of Languages, Literacies & Translation) では日本語コースがあり、日本への関心も高い。ほとんどの授業を英語で履修することができる。

留学期間 [2セメスター:10月～翌年8月、3月～翌年2月] [1セメスター:10月～翌年2月、3月～8月]

出願資格 ・出発時に2年次以上に在籍する者
・英語で授業を受けるのに十分な語学能力を有していること。次のいずれかのスコアを満たしている必要がある。
TOEFL ITP® 543、TOEFL PBT® 550、TOEFL iBT® 79-80、IELTS™ 5.0、TOEIC 605



延世大学【経営学部】〈韓国〉 Yonsei University School of Business

50 Yonsei-ro, Seodaemun-gu, Seoul 120-749 Republic of Korea
URL: https://www.yonsei.ac.kr/en_sc/

延世大学は現在、ソウル大学、高麗大学と並んでSKYとも総称される韓国の3大名門大学のひとつである。経営学部は、韓国で初めて3機関 (AACSB、KABEA、EQUIS) による認証評価を受けており、一定の大学評価基準を満たしていることから、質の保証がなされた教育研究活動等を実施しており、優れた教育プログラムを提供している。

留学期間 [1セメスター:3月～6月、8月～12月]

出願資格 ・出願時に商学部2年次以上に在籍する者
・韓国語又は英語で授業を受けるのに十分な語学能力を有していること。(韓国語の場合KLAT level 4、TOPIK level 4/
英語の場合TOEFL iBT® 79、TOEFL iBT® Home Edition 79 (ITP、MyBest scoreは不可)、IELTS™ 6.5、
CEFR B2 のいずれかのスコアを満たしている必要がある。)
・GPA2.5以上



慶星大学【商経学部】〈韓国〉 KyungSung University College of Commerce and Economics

314-79, Daeyeon-Dong, Nam-gu, Busan, 608-736 Republic of Korea
URL: <https://cms1.ks.ac.kr/eng/>

慶星大学はキリスト教の愛と奉仕の精神のもとに1955年に設立された慶南師範大学を起源とする総合大学である。商経学部には経済物流学科 (経済学専攻、物流学専攻)、経営学科、会計学科、国際貿易通商学科、ホテル観光経営学科 (ホテルイベント経営専攻、外食産業経営専攻)、経営情報学科があり、韓国の物流・観光の中心地である釜山というキャンパスの立地を生かし、特に物流の分野、観光の分野で大きな実績をあげている。

留学期間 [2セメスター:3月～12月、9月～翌年6月] [1セメスター:3月～6月、9月～12月]

出願資格 ・出発時に商学部2年次以上に在籍する者
・ハンガルの学習意欲のある者
・ハンガルの学習経験が1年以上、もしくは英語が堪能な者が望ましい

国立高雄大学に留学

瀬賀俊介さん 留学時3年生 (2019年2月～6月)

私が留学先として選んだ国は台湾です。そこで、4ヵ月半ほど自分の専攻する領域だけではなく、言語や文化についても学びました。

台湾の公用語は中国語ですが、中国本土の中国語とは少しだけ異なり、抑揚やアクセントが中国本土のものより重要視されていません。そのため、日本人にとっては比較的学びやすいです。また、漢字が使われていますので、いざとなったら筆談が通じやすいというメリットもあります。台湾は中国、日本、東南アジアから、歴史的・地理的観点からも影響を受けていることもあり、英語の授業が小学生から行われています。そのため、ほとんどの場所でも英語が通じます。日本に比べ、物価も安く、体感ではありますが、2/3くらいで生活できます。台湾全体が親日であることから、日本人というだけで握手される、お店でサービスしてもらい、などといったことも多くありました。台湾では日本語を学びたい、という意欲をもった学生も大変多いため、言語交換の機会もたくさんあると思います。私は、日本語専攻の学生の授業にボランティアとして参加することで、現地の学生との交流を図っていました。

NUKでの授業は4教科取りましたが、学部科目は1教科あたり2時間45分ほどだったため、大変でした。英語でプレゼンを行う科目や、アジア経済について学ぶ授業、サプライチェーンについて学ぶ授業、そして中国語の授業を取りました。この他にも、上述した通り、日本語専攻の授業に参加し、日本語を教え、中国語や台湾のことについて教えてもらいました。

他の国からの交換留学生も、韓国、中国、マレーシアなどアジア圏からはもちろん、アメリカやフィンランドからも来ていたため、多くの文化や価値観に触れることもできました。

留学中の交換留学生は基本的に授業を4～6教科ほど取る学生が多いです。そのためそれ以外の時間は自由に使うことができます。私は語学学校に通う、日本語のボランティアを行う、などしていました。留学前は不安もありましたが、振り返ってみると自分を大きく成長させてくれた1学期だったと胸を張って言えます。皆さんも、台湾で学んでみませんか？



※派遣留学中は留学先大学の学費は免除されますが、渡航費、寮費、食費、交通費、経費等は自己負担となります。また留学中は所定の学生納付金を本学に納入する必要があります。
 ※留学先で修得した単位は単位認定を申請することができます。詳細は商学部事務室へお問い合わせください。
 ※以下の情報は、本ガイド作成時点における情報です。先方大学によって毎年見直されますので、変更になる場合があります。最新情報については、商学部HPをご確認ください。

現在、以下の6大学と学生交換協定を結んでいます。



国立高雄大学【管理学部】〈台湾〉

700, Kaohsiung University Rd., Nanzih District, Kaohsiung 811, Taiwan, R.O.C.
 URL: <https://www.nuk.edu.tw/>

National University of Kaohsiung College of Management

国立高雄大学は、産業支援と中小企業の発展を担う人材の育成を目指して2000年に設立された国立総合大学である。協定先の管理学部には、応用経済学科、アジア太平洋工商管理学科、金融管理学科、情報管理学科が設置されており、マネジメントに関わる原理・原則はもとより、実践も重要視した教育を行っている。

留学期間 [2セメスター:9月～翌年6月] [1セメスター:9月～翌年1月、2月～6月]

出願資格 ・出発時に商学部2年次以上に在籍する者
 ・中国語で授業を受けるのに十分な語学能力を有していることが望ましい



チュラロンコン大学【経済学部】〈タイ〉

Chulalongkorn University, Faculty of Economics
 Phayathai Road, Bangkok 10330

Chulalongkorn University Faculty of Economics

URL: <https://www.chula.ac.th/en/>

チュラロンコン大学は、1917年に国王ラーマ6世によって設立されたタイで最も古い歴史を持つ同国を代表する大学である。高い教育を提供するとともに、レベルの高い研究で定評がある。協定先の経済学部は、チュラロンコン大学内で最も国際化が進んだ学部のひとつであり、英語での授業提供科目が豊富で留学生の受入実績も多い。キャンパスは経済や商業の拠点であるバンコク中心部に位置している。

留学期間 [2セメスター:8月～翌年5月] [1セメスター:8月～12月]

出願資格 ・出発時に商学部2年次以上に在籍する者
 ・TOEFL iBT® 76以上または、IELTS™ 6.0以上の者



ベルリン自由大学【経営・経済学部】〈ドイツ〉

Garystr. 21, 14195 Berlin
 URL: <https://www.fu-berlin.de/en/>

Free University Berlin School of Business and Economics

ベルリン自由大学は、第二次世界大戦後に研究者達が西側占領地域に「自由」をその名に冠して大学を発足させたのが始まりであり、現在ではドイツ国内はもとより、ヨーロッパでも屈指の総合研究大学として高い評価を受けている。経営・経済学部は留学生の受け入れにも積極的であり、国際性豊かなキャンパスとなっている。

留学期間 [2セメスター:4月～翌年2月、10月～翌年7月] [1セメスター:4月～7月、10月～翌年2月]

出願資格 ・出発時に商学部2年次以上に在籍する者
 ・原則 CEFR B2 以上の英語能力を有する者
 ただし、同志社大学商学部への出願時点でCEFR B1 (目安:IELTS™ 5.0、TOEFL iBT® 60、TOEFL ITP® 500、英検準1級)に達している学生も出願可能とする

一週間の過ごし方

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前				授業	
午後	授業	ボランティア	授業	語学学校	語学学校
夕方	語学学校	語学学校			
夜		授業			

商学部における認定留学制度について

商学部には、SAF(エスエーエフ・スタディ・アブロード・ファウンデーション)およびJSAF(日本スタディ・アブロード・ファンデーション)を通じて、自ら個人で大学留学を行い、単位を修得した場合に単位を認定する制度があります。単位認定のためには、商学部事務室へ事前申請を行い、帰国後、商学部事務室に必要書類を提出し、その後単位認定の面接を受ける必要があります。認定留学制度の適用を希望する場合は、少なくともSAF、JSAFへ出願する1ヵ月前には商学部事務室に申し出てください。なお、休学して留学する場合は、認定留学制度の適用はできません。

学部授業プログラムによる単位認定

外国協定大学派遣留学生制度、商学部学部間協定留学制度に基づく交換留学と同様の基準で単位認定

語学力強化プログラムによる単位認定

最大1セメスター4単位(通年8単位)を上限に、「外国留学科目(1～8類)」として単位認定

SAFやJSAFの情報について詳しくは、SAFおよびJSAFのホームページ、もしくは、国際課にお問い合わせください。

SAF <http://japan.studyabroadfoundation.org/>

JSAF <http://www.japanstudyabroad.org/>